

第1日 5月11日 (金)

8:20~8:30

開会の挨拶

会長：齊藤延人（東京大学）

8:30~10:20 プレナリーセッション

PS1-1 血管奇形の基礎と臨床

座長：溝井和夫（秋田大学）
滝 和郎（三重大学）

1. 手術で治療困難な AVM菊田健一郎（福井大学）
2. 大きな AVM に対するガンマナイフ治療城倉英史（古川星陵病院）
3. AVM に対する血管内治療の適応と限界宮地 茂（名古屋大学）
4. 海綿状血管奇形の診断と治療野崎和彦（滋賀医科大学）
5. 硬膜動静脈瘻の分類と治療の課題杉生憲志（岡山大学）
6. 脊髄動静脈シャント—何が治せて何が治療困難なのか—松丸祐司（虎の門病院）

10:20~12:10 プレナリーセッション

PS1-2 良性腫瘍の診断と治療

座長：佐々木富男（九州大学）
甲村英二（神戸大学）

1. 病理に基づく髄膜腫の治療方針岡 秀宏（北里大学）
2. NF2 と VHL の諸問題植木敬介（獨協医科大学）
3. 内視鏡手術とロボット手術の未来本郷一博（信州大学）
4. 下垂体腺腫の薬物療法富永 篤（広島大学）
5. 難治性頭蓋底腫瘍の課題齋藤 清（福島県立医科大学）
6. 重粒子線治療の展望石内勝吾（琉球大学）

12:20~13:20 ランチョンセミナー

LS1 (詳細 38 頁)

会場: 第 2~10 会場

13:30~14:30 プレナリーセッション

PS1-3 震災と脳神経外科



座長: 寺本 明 (日本医科大学)
島 克司 (防衛医科大学校)

- 1. 震災と救急医療 有賀 徹 (昭和大学救急医学)
- 2. 東日本大震災と脳神経外科 富永悌二 (東北大学)
- 3. 広域震災時の学会対応 加藤天美 (近畿大学)

14:30~16:20 プレナリーセッション

PS1-4 機能外科と神経科学



座長: 伊達 勲 (岡山大学)
片山容一 (日本大学)

- 1. ヒトの脳機能局在 池田昭夫 (京都大学)
- 2. 皮質脳波による視覚認知ネットワークの解明 鎌田恭輔 (旭川医科大学)
- 3. 顔認知に関する最新脳科学研究 柿木隆介 (自然科学研究機構生理学研究所)
- 4. ブレイン・マシン・インターフェースの最先端 平田雅之 (大阪大学)
- 5. DBS の課題と可能性 深谷 親 (日本大学)
- 6. リハビリ領域の最新機器—筋電制御義手 陳 隆明 (兵庫県立リハビリテーション中央病院)

16:20~17:50 プレナリーセッション

PS1-5 小児脳神経外科の課題

座長：阿部俊昭 (東京慈恵会医科大学)
新井 一 (順天堂大学)

- 1. 小児の術前術後管理の基本坂本博昭 (大阪市立総合医療センター)
- 2. 未熟児水頭症の周術期管理宮嶋雅一 (順天堂大学)
- 3. 脳形成異常と遺伝子加藤光広 (山形大学)
- 4. 二分脊椎の原因と予防伊地俊介 (日赤医療センター)
- 5. 小児の脳死判定・脳死下臓器提供における諸問題荒木 尚 (日本医科大学救急医学)